

まちだ〇(まる)ごと大作戦「竹あかりの街“あいはら”」

打ち合わせ

2018年11月7日(水)堺市民センターにおいて、相原にぎわい創生プロジェクト主催の第1回「三大学合同会議」が開催され、「竹あかり」製作のスタートとなりました。主催する土田さんは、相原のまちの活性化とともに、法政大学・東京造形大学・東京家政学院大学の学生の、そして、地域で活動している方たちとの、交流・つながりを大切にしたいと話されていました。



作業

このプロジェクトに参加した生活デザイン学科の学生4名は、2018年の10月から堺市民センター等での会議(竹あかりの作り方等)に参加したり、2019年の1月からは相原中央公園で竹を加工する等に関わりました。当初は、ドリルを使った竹の加工になかなか慣れませんでしたでしたが、少しずつ手つきも良くなり、細かな加工もできるようになりました。

点灯式

2019年3月30日(土)18:30からJR相原駅西口広場で点灯式を行いました。点灯式当日は、小雨が降りましたが、主催者の「相原にぎわい創生プロジェクト」の挨拶から始まり、本学学生の挨拶もあり、制作した竹にあかりが灯りました。約半年に係る活動の集大成となった点灯式でした。明かりは、2ヶ月間相原駅を照らしました。



制作は東京家政学院大学・法政大学・東京造形大学・Mintaka(多摩美術大学・東京造形大学有志)・つぼみの家町田ゆめ工房・特別養護老人ホーム椿・相原小学校5年生・町田市観光まちづくり課が参加して竹灯籠や竹提灯を作成しました。

- ◆担当教員 河田 敦子 教授
- ◆パートナー 相原にぎわい創生プロジェクト他
- ◆実施期間 2018年10月～2020年12月